

School Information

セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校 SAINT JOSEPH JOSHI GAKUEN HIGH SCHOOL & JUNIOR HIGH SCHOOL
〒514-0823 三重県津市半田1330 URL:https://sjjg.ac.jp/

JOSEPH FESTIVAL 2021

ヨゼフ祭「Little World In Joseph」

「セントヨゼフで体験する世界」をテーマに、各クラスが趣向を凝らした出し物を展開。生徒たちは文化祭形式で校内を巡りながら、世界の国・地域が抱えている諸問題やSDGsが目指す目標について見識を広めた。



南米に行った気分を味わってもらおうため、南米の世界遺産や有名な風景を描いて現地を表現。SDG11を意識した。



カジノを模した出し物では、SDGsのゴールに合わせて17までのトランプを用意。数字(目標)に応じたクイズが出題された。



SDGsの17ゴールを示したカードと同色の水を入れたペットボトル。輪を投げて入れると、その色のカードがプレゼントされた。

Student's Voice 地域貢献や環境配慮 運営面からもSDGsを意識

約2ヵ月という準備期間の中で、先生方と何度も議論を重ね、ヨゼフ祭をつくり上げました。単に出し物を用意するだけでは面白みに欠けるため、来場者からの人気や内容に応じてポイントを付与し、その結果で「優秀賞」を決めるシステムに。SDGsに関わる取り組みを積極的に行なったクラスには「SDGsポイント」が入るなど、皆が主体的にSDGsと向き合えるように工夫しました。優秀賞の賞品として約1年間・月1回贈呈する花は、地元の生花店で購入。これはコロナ禍で苦境に立つ地域経済を、少しでも活性化したいという思いから行った試みです。当日は各クラスが多彩な出し物を展開。そのクオリティーの高さに私たちも感動し、目を見張りました。それらはすべて実行委員会が動画で撮影し、来場できない保護者の方に向けて配信しました。また、ヨゼフ祭では運営面からもSDGsを意識し、会議で使う資料作りからお金の管理、優秀賞の投票までiPadで実施。ペーパーレスを実現し、エコロジカルな行事になった手応えを感じています。今回の経験を通して、SDGsについてもっと勉強し、「行動につなげていこう」という気持ちが高まりました。日頃から私たちにできることを考え、実践していきます。



ヨゼフ祭実行委員会

向かって左から中山桜良さん(高2)、奥本幸音さん(高2)、鈴木彩乃さん(高1)、富井心愛さん(高1)



「課題」に向き合う生徒たち
世界的にジェンダー平等の実現が叫ばれる中、セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校は以前からジェンダー問題の解決に力を入れている。2019年に熊本で開催された「女子高生サミット」では、全国から集まつた女子高4校と共に討論・発表を行った。参加にあたつてセントヨゼフの生徒たちは、海外研修で経験した文化・社会の仕組みの違いから「日本社会における女性の理想的な働き方」を考察。比較対象として世界の事例を調べるために、国内外の関係者に電話メールで聞き取り調査も重ね、最終的には未来への宣言文として現地を表現。SDG11を意識した出し物では、SDGsのゴールに合わせて17までのトランプを用意。数字(目標)に応じたクイズが出題された。

SDGsをテーマに組み込んだ新たな学校行事「ヨゼフ祭」は、毎年、セントヨゼフでは保護者や同窓生を招いてバザーを開催してきたが、昨年度はコロナ禍の影響で中止となつた。そんな中、今年度に生徒たちの発案で開催したオンライン交流会に参加。留学生や三重県の高校生、フレンドからトンガ、パプアニューギニア、パラオ、日本まで各国の環境問題について話し合い、解決策を発表した。G・C・Uでは、今後も気候変動によって影響を受ける太平洋諸国・地域の現状を社会に発信し、自分たちにできることを考えていく。

「Little World In Joseph」に設定。中学1年生は日本、高校2年生はアメリカなど、学年ごとに国・地域が割り当てられ、各クラスが担当エリアの実情に基づいた展示物やゲームを考案した。多様性を理解してもらいため、1つの紙芝居を日本各地域の方言ことに作つたり、SDGsの内容を組み込んだ劇を披露したり、出し物のバラエティは実にさまざま。生徒たちはイベントを大いに楽しみながら、SDGsに対する理解を深めた。また、セントヨゼフでは生徒一人ひとりにiPadが貸与されており、環境面を配慮し、ヨゼフ祭の企画・運営は基本的にペーパーレスで行われた。イベントパンフレットも電子ブック形式で制作され、実行委員会がiPadで配信するスタイルを取つたという。

「今回の催しが、SDGsを『自 分事』として捉え、2030年に向けた行動を起すきっかけになります」といいます。来年もヨゼフ祭の開催を予定していますが、継続する中で生徒一人ひとりが知識・経験を積んで次のステップにつなげていくことが重要です。そして、下級生が上級生の背中を見ながらその思いを共有する機会を設けたいと思います。そこで、下級生が上級生たちに「SDGsに対する理解を深めたい」と思っていることを期待しています」(井関校長) 生徒が一丸となって「愛と奉仕の精神」を表現し、SDGsの実現に寄与するセントヨゼフ。このカトリックスクールから輩出される「品位と知性」を兼ね備えた女性たちが社会に何をもたらすのか。その活躍に大きな期待が集まる。



募金活動を行う部活「Wings of Friendship」は、ヨゼフ祭で手作りキャンドルを販売